

神近牧男先生のご逝去を悼む

鳥取大学・乾燥地研究センター

木村玲二

<略歴>

1941 年生まれ
1964 九州大学農学部農業工学科卒業
1966 九州大学大学院農学研究科農業工学専攻修了
1987 農学博士（九州大学）
1966 宮崎県農業試験場（技師）採用
1973 鳥取大学農学部附属砂丘利用研究施設 助教授
1990 鳥取大学乾燥地研究センター（改組） 助教授
1990 同 上 教授
2004 同 上 副センター長 教授
2005 同 上 センター長 教授
2006 鳥取大学 名誉教授
2006 鳥取環境大学副学長
2009 山陰海岸ジオパーク鳥取砂丘ジオガイド
2025 5月20日ご逝去（享年85歳）

<主な受賞歴>

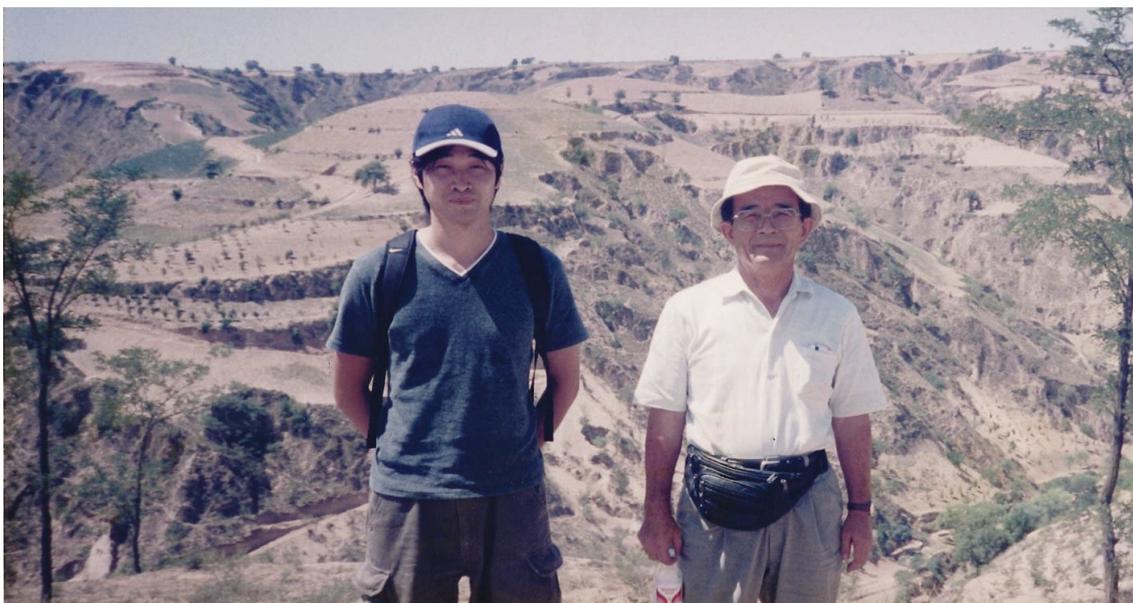
2015 年 自然公園関係功労者環境大臣表彰
2021 年 瑞宝中綬章

神近先生は、農業気象学・環境調節学・乾燥地気象環境学を専門とされ、特に砂丘地域における農業利用に貢献する研究に長年取り組まれてきました。具体的には、砂丘における保安林の設置とその成長に伴う局地気象の変化の解析や、風気候と砂の移動に関する研究を継続的に進めてこられました。さらに、乾燥地・半乾燥地における農業開発に向けて、自然環境の評価や自然資源・エネルギーの開発と利用に関する研究も推進され、日本における砂丘・乾燥地農業研究の黎明期において、輝かしい業績を残されました。また、鳥取大学の乾燥地研究センターではセンター長として、独立行政法人化以降の運営や将来計画の立案などに尽力され、乾燥地研究の国際的な発展に大きく貢献されました。ご退職後も、（現）公立鳥取環境大学の副学長として設立初期の運営に携わり、地域の発展に寄与されました。さらに、自然公園財団鳥取支部・鳥取砂丘ジオパークセンターにおいては、山陰海岸ジオパークのジオガイドとして活動し、鳥取砂丘の保全と発展に尽力され、世界ジオパーク認定に際

しても大きな役割を果たされました（2015年には、自然公園関係功労者環境大臣表彰を受賞）。このような業績が認められ、2021年には「瑞宝中綬章」を授与されました。

神近先生には多くの教え子があり、大学等の教員や研究者をはじめ、たくさんの優秀な人材を世に輩出しました。教え子たちは皆、先生の優しさや笑顔、人柄、そしていつ来るか分からないダジャレを懐かしみ、先生がご退職後も鳥取を訪れてくれました。

神近先生は、国内外を問わず、多くの人々から尊敬される偉大な研究・教育者であったと思います。先生の偉業と優しさに心から敬意を表すとともに、ご冥福をお祈りいたします。



中国・黄土高原にて（2001年7月）